

富良野市次期総合計画策定プロジェクト 「計画づくり⇒その先に向けて」

有識者会議②_令和2年度：2020年6月30日

フラノデザインの役割

各会議体・ワークショップの話し合いの場を支援

1

各会議体間、市民の意見を繋ぐ支援

2

情報の見える化・デザインの支援

3

その上で、本日はプロジェクトの現在地共有をもとに皆様の意見を聞かせて頂き、今後の総合計画策定までの大事な素材として活用させていただきます。

本日の構成

- (0) 委員メンバーの紹介
- (1) 人口分析の状況について－①
- (2) 総合計画策定のプロセスの現在地
- (3) 総合計画における内容検討「骨格と前提」－②
- (4) 意見交換－①②

(0) 委員メンバーの紹介

(1) 人口分析の状況について

(2) プロジェクトチームの現在地

※6月以降

プロジェクトチームのプロセス

第1回：4月16日



事前ワーク



第2回：5月7日



事前ワーク



第3回：5月21日



- チームビルディング
- プロセスの共有・現在地の確認
- 素材の整理
- 環境づくり

- 素材の把握、読み込み、整理
- 市民の声の構造化
- 将来予測情報の収集

- 富良野版起こり得る未来年表づくり
- 問題解決アプローチ⇔システム思考アプローチ：系で俯瞰し、構造を視える化する

第4回：6月4日
ロングバージョン



事前ワーク



事前ワーク



第5回：6月18日
ロングバージョン



事前ワーク

- 系で観る（ループ図）
- 実際に富良野市を歩く
- 創りたい富良野を探求する
- 総合計画策定の前提・重要な視点を考える

- 総合計画のフレームづくり
- 総合計画策定の前提の整理、構造化

- 前提に基づき、①-⑤回までの素材を再度整理し、「基本構想」づくり

(3) 総合計画における内容検討 「骨格と前提」

現状
・課題な
ど

策定の前提
・考え方・
視座・視点・
大切な点
など

理念・未来像・ビジョン等
「創り出したい姿」

目標・コンセプト・戦略等

計画・施策・（事業）

現状
・課題な
ど

【A】

策定の前提
・考え方・
視座・視点・
大切な点
など

理念・未来像・ビジョン等
「創り出したい姿」

【B】

目標・戦略等

【C】

計画・施策・（事業）

現状
・課題など

【A】

策定の前提
・考え方・
視座・視点・
大切な点
など

理念・未来像・ビジョン等
「創り出したい姿」

【B】

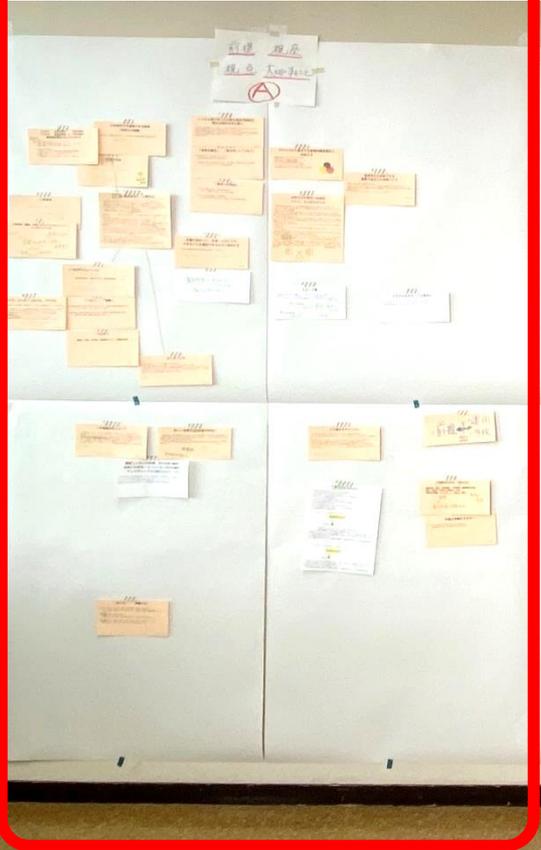
目標・戦略等

【C】

計画・施策・（事業）



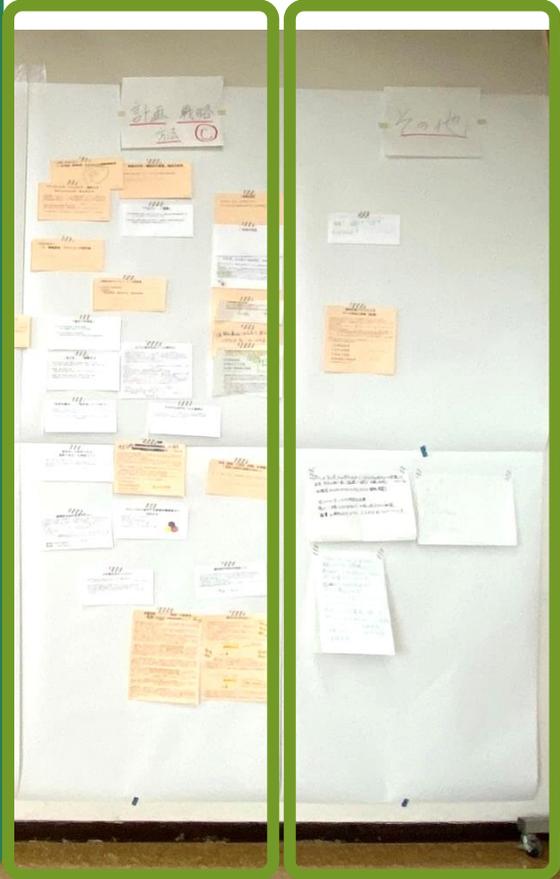
【A】
総合計画の前提
・大切な視点



【B】
理念・未来像
・ビジョン等
「創り出したい姿」



【C】
目標・戦略・
計画・方法等







【A】総合計画の前提・大切な視点

Version1.0

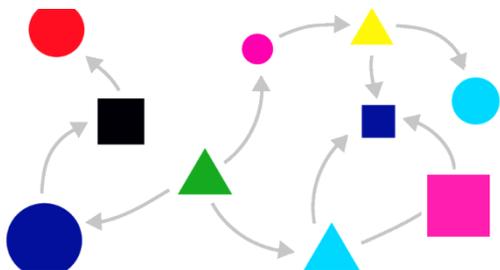
1. 未来は創るもの
／構造変化に対応する
新スタイルへの移行



2. 「ヒト」が中心であること



3. 「つながり」のアップデート



4. 富良野らしい
ユニークさがあること





【A】総合計画の前提・大切な視点

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

- ① 人口減少をチャンスととらえる
- ② 「柔軟性」×「スピード」
- ③ 「チャレンジ」を応援する
- ④ 「真剣さ」×「遊び心」による創造性



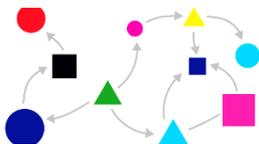
2. 「ヒト」が中心であること

- ① 主役は誰か？
- ② 未来づくり人材が育つ環境とは？



3. 「つながり」のアップデート

- ① 真の協働とは？
- ② 目の前の事象だけでなく、様々な要素のつながりを俯瞰し、好循環を生み出す
- ③ 未来を創るために、越境し、ボーダレスにつながる



4. 富良野らしいユニークさがあること

- ① 美しい風景・自然を100年後の未来に
- ② 先人たちの知恵・歩みをアップグレード
- ③ 地球の住人として富良野がリードできること





【A】総合計画の前提・大切な視点_1

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

①人口減少をチャンスととらえる

少子高齢化により、国内全体および富良野においても人口減少が進む。担い手不足、一人当たりの行政サービス負担等の増加、ハードの老朽化などが予想され、じゅうらう型の課題解決での限界が訪れている。

「人口が少ないこと＝悪」ととらえず、創造的な動きやテクノロジーの活用により、成行きで後退してしまうことがないような転換が必要となる。

未来は、誰かが与えてくれるものから脱却し、自ら目指し創る意識のもと、新スタイルを確立していくことが重要。

課題対応から、「創り出す未来」へ。

③「チャレンジ」を応援する

富良野にはチャレンジを応援する土壌がすでにある。これからの時代には、ひとつの答えを探るよりも、「コト」が起こる実際の動きが重要。ひとりひとりのチャレンジを自然と応援できる寛容な環境を大切にする。

②「柔軟性」×「スピード」

先が読めずに、不確実で正解がない時代。やってみないと、何が確からしいかわからない時代。外部環境の変化もめまぐるしく、過去の成功体験や手法でうまくいなくなってきた。まずやってみる機運を高め、安全な失敗を尊重する。やってみて、都度修正し、未来を創り出す。



④「真剣さ」×「遊び心」による創造性

真剣さの中に、遊び心や余白があることで創造性は生まれる。どうやって、時間や心の余白をつくるか、遊び心を取り込めるか。未来づくりを楽しもう。

2. 「ヒト」が中心であること

3. つながりのアップデート

4. 富良野らしいユニークさがあること



【A】総合計画の前提・大切な視点_2

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

2. ヒトが中心であること

① 主役は誰か？

「より良い未来を」、と願うひとりひとりの気持ちに寄り添っていく。
行政都合になっていないかを問いながら、富良野に住むひとりひとり及び、富良野に関わるひとりひとりが人生の「主人公」となることを応援する。
どれだけテクノロジーやデジタルに進化する時代においても「ヒト」を中心におくことを大切に。

② 「未来づくり人材」が育つ環境とは？

変化の時代、構造が変わる時代において、自ら気づき、考え、行動を起こし、動きを修正し続けられるヒトが求められる。
そのような人材がひとりでも多く育つ環境そのものを皆で育む。



3. つながりのアップデート

4. 富良野らしいユニークさがあること



【A】総合計画の前提・大切な視点_3

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

2. ヒトが中心であること

3. つながりのアップデート

①真の協働とは？

「協働」が求められる社会背景を理解する。
これまでも、行政と市民の関係を模索しながら歩んできた。
「何のための協働か？」「あるべき協働の形とは何か？」を
探求し続け、「協働」のアップデートをはかる。

③未来を創るために、越境し、ボーダレス につながる

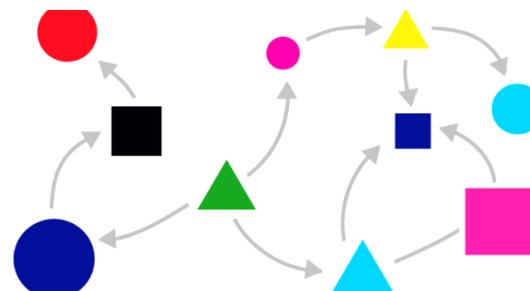
協働、好循環を生み出すためには、個人・組織・立場・
住む場所・地域などの枠を越境し、つながりを創出してい
く必要がある。

富良野に住む人、住んだことがある人、訪れたことがある
人、来てみたいと思う人、興味を持っている人、まだ知ら
ない人たちとのつながりに、未来づくりへの可能性を見出
す。

②目の前の事象だけでなく、様々な要素の つながりを俯瞰し、好循環を生み出す

複雑な課題は、様々な要素と要素が繋がりあって、表面
上見えにくい状況と重なり合って起こっている。一つの側
面からの対処療法的なアプローチでは、本質的に解決に
至らないことも多い。

要素同士のつながりを大局的に明らかにし、ヒト・モノ・カ
ネ・情報など、「好循環」を生み出すループのデザインを行
なっていくことが求められる。



4. 富良野らしいユニークさがあること



【A】総合計画の前提・大切な視点_4

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

2. ヒトが中心であること

3. つながりのアップデート

4. 富良野らしいユニークさがあること

①美しい風景・自然を100年後の未来に

複数の山系に囲まれた360度のパノラマ、豊かな水系、農地が織りなす美しい景色、月ごとに表情を変える季節の奥行き。世界からヒトが集まる魅力、住む人が誇りに思える魅力が富良野にはある。

住む人も訪れる人も、その豊かな恩恵を受けている。

この美しい、あたりまえの環境を、

「100年後の未来／子供たちに今以上に美しくしてのこしていく」姿勢を忘れない。

②先人たちの知恵・歩みをアップグレード

先人たちから引き継ぐ「自然との共生」の知恵を最大限に活かし、「持続可能」な地域づくりをアップグレードしていく。



③地球の住人として富良野がリードできること

自然との共生を前提としたさまざまな取り組みや環境がすでに富良野にはある。その環境に磨きをかけ続けながらも、富良野の枠を超えて、社会・世界に発信し、リードできる可能性をカタチにしていく。

【A】総合計画の前提・大切な視点

Version1.0

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

- ① 人口減少をチャンスととらえる
- ② 「柔軟性」×「スピード」
- ③ 「チャレンジ」を応援する
- ④ 「真剣さ」×「遊び心」による創造性



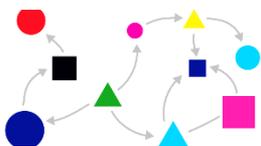
2. 「ヒト」が中心であること

- ① 主役は誰か？
- ② 未来づくり人材が育つ環境とは？



3. 「つながり」のアップデート

- ① 真の協働とは？
- ② 目の前の事象だけでなく、様々な要素のつながりを俯瞰し、好循環を生み出す
- ③ 未来を創るために、越境し、ボーダレスにつながる



4. 富良野らしいユニークさがあること

- ① 美しい風景・自然を100年後の未来に
- ② 先人たちの知恵・歩みをアップグレード
- ③ 地球の住人として富良野がリードできること



今後のプロセス（イメージ）

4月～6月

7月

8月

9月

10月～

素材の整理

【A】総合計画策定の「前提」の整理

【B】総合計画「基本構想」原案づくり

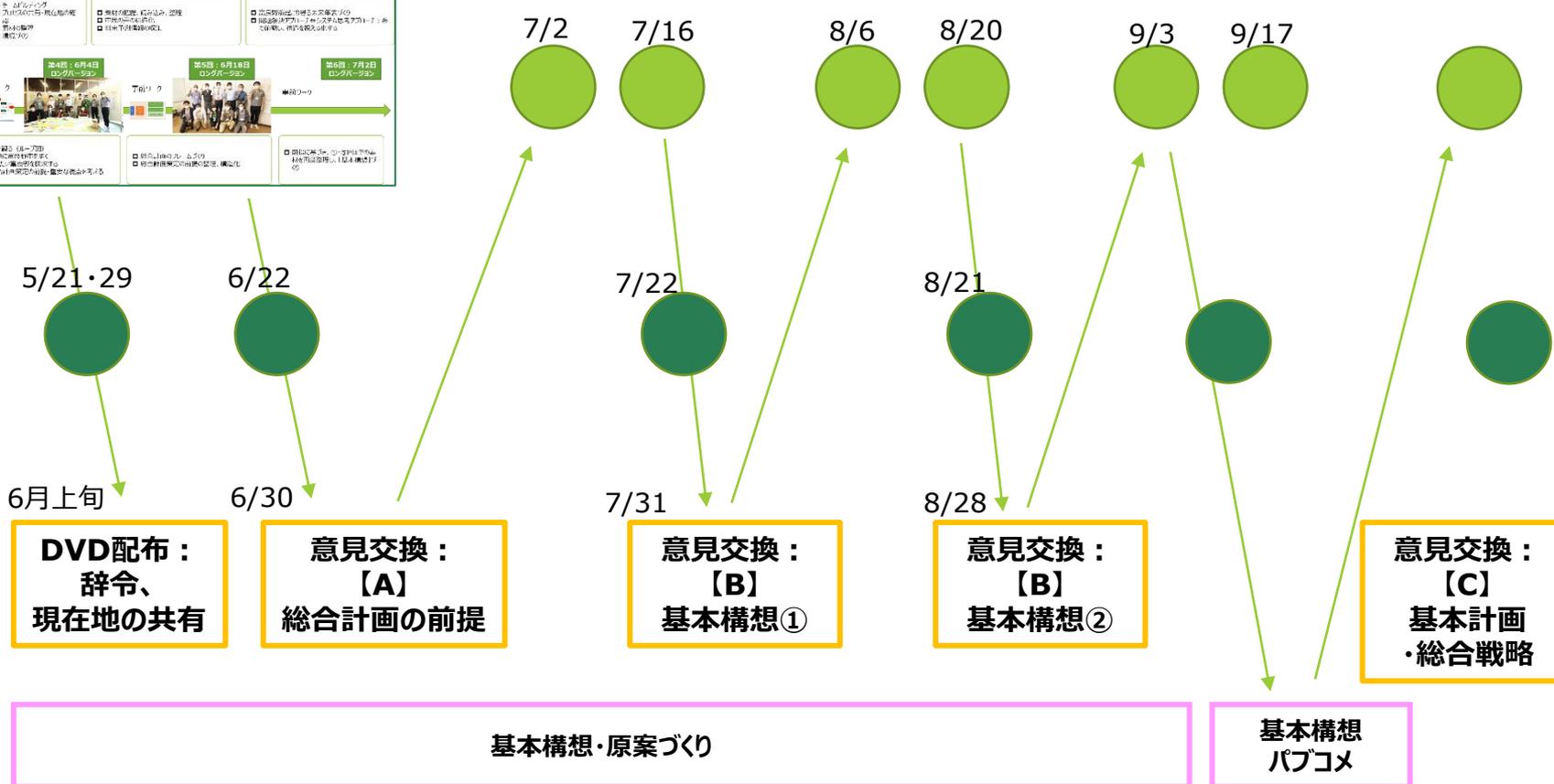
【C】総合計画「基本計画」・総合戦略原案づくり



PJチーム

策定委員会

有識者会議



(4) 意見交換